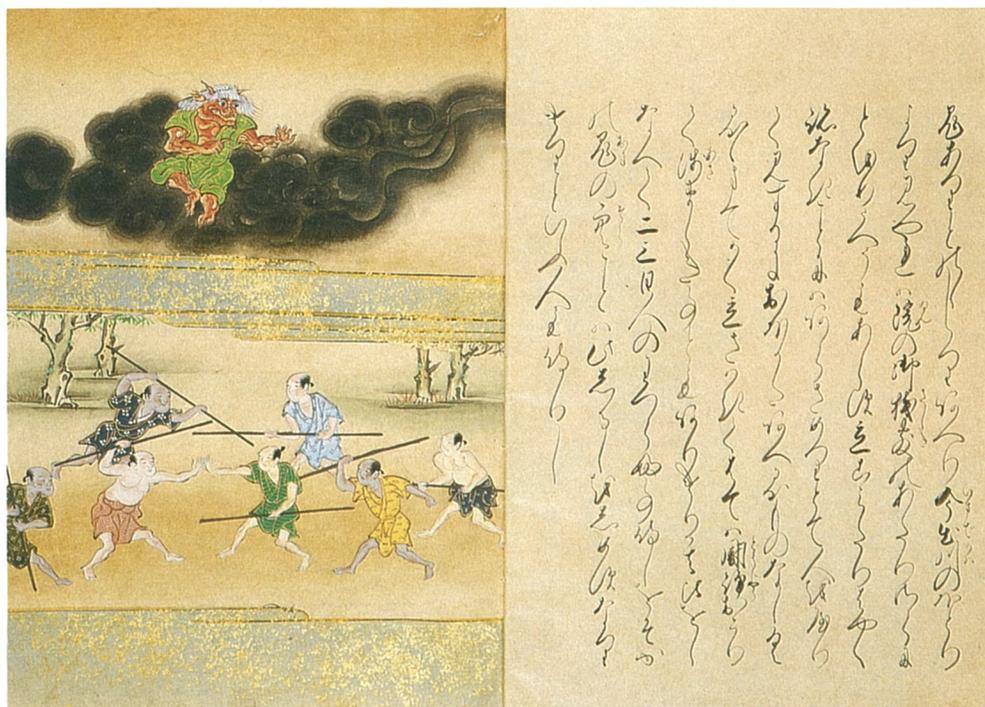


蓬左

HÔSA No.38

名古屋市蓬左文庫
Nagoyashi Hôsabunko

1989. 7



つれづれ草 江戸時代（17世紀） 6冊 （23.5×17.3cm）

「つれづれなるままに日暮し……」の有名な一節ではじまる吉田兼好（1283～1350？本名卜部兼好^{うらべかねよし}、学者、歌人）の随筆「つれづれ草」の奈良絵本。この部分は第五十段のさし絵と本文の一部。都に現われた女の鬼のうわさに、翻弄され喧嘩まではじめた人々の姿が描かれている。

中世末から近世初期に御伽草子などを主な題材として作られた庶民感覚の強い絵本「奈良絵本」も、江戸時代に入るとともに華麗な装飾を施した豪華なものが作られるようになり、「飾り本」として嫁入調度の一つにもなっている。本書は、三代藩主綱誠^{つななり}の夫人で、初代藩主義直の孫にあたる新君^{にいぎみ}（1654～92）の蔵書。金砂子をふんだんに使った精緻な描写のさし絵、龍丸菱格子文様の金欄の表紙と、その豪華な装訂からも調度の一つとして用いられたことが伺われ、彼女の嫁入道具の一つであった可能性も高い。

絵本には、ページをめくるだけで読者を作品の中にひき込む魅力があります。絵本の楽しみの中心がさし絵にあることはもちろん、文章を絵画化する表現方法、絵と文の構成、配置など、そのデザインによって絵本の魅力、楽しみは、倍増も半減もすると言えます。

絵本のルーツは、平安、鎌倉時代の絵巻に求めることができますが、当時の絵巻は、貴族や寺社の持ちものであり、庶民に対しては、布教や教化の材料として使われるのがほとんどでした。やがて、室町時代も後期となると、現在「奈良絵本」などと総称されている冊子本形式の肉筆絵本が登場し、江戸時代のはじめにかけて広く普及することとなります。

また、同じころ、すでに商業出版が広範に進んでいた隣の明国からは、多くの出版物が流入しており、この中には、四書五経を中心とした中国の古典とともに、学術・実用書から大衆娯楽小説にいたるまで多くの絵入り本が含まれていました。ちなみに、当時日本にもたらされた出版物で、とくに大衆向の絵入り小説や実用書などは、現在では、本国の中国で失われ、日本にしか残っていないものも少なくありません。

一方、このような状況の中で、当時商業出版の草創期にあった我国では、漢籍や仏典を中心とした出版から一歩進んで、我国の文学作品などが出版されるようになり、さし絵入りの物語や仮名草子の印刷刊行も始まりました。

以後、江戸時代には、幕府の文教政策のもと、庶民文芸は発達し、大量出版の時代を迎えます。さし絵を中心とした純粋な絵本から自然科学などの学術書まで、多色刷の錦絵に象徴される印刷技術の発達とともに、多くの精巧な絵入り本が刊行されています。そして、この内、もっとも大量に出版されたものは、もっとも大衆的な読物であった絵双紙、草双紙などと呼ばれた絵本でした。そこには、江戸文化の精神、意匠が集約されているとともに、かつての絵巻の表現方法も生きていと言われます。

今回は、「書物のデザイン」の第2回として絵本をとりあげ、奈良絵本から絵草紙にいたる日本の絵本に中国、朝鮮の絵本も加え、その多様なデザインを御紹介します。



呉姫百媚 宛瑜子編 万曆45年(1617)刊 2巻1冊(27.4×16.2cm)

中国呉の地方(江蘇省一帯)の美人列伝である。その美貌を花にたとえ、詩・曲・文によって称えるとともに、その絵姿がさし絵として添えられている。同時代の中国の絵本には、優美な物腰の中国美人の姿がよく登場し、明代も末にいたるほど肉筆画に近づいた繊細な描線による表現が多くなる。また、こうした絵本のさし絵の構図は、絵画や工芸デザインのモチーフに使われることもあったようだ。

本書は、初代藩主義直(1600～1650)の蔵書。義直の書物収集活動のピークにあたる寛永6年(1629)の購入書物の一つ。初代義直、二代光友(1625～1700)の蔵書には、中国の古典的学術書とともに、当時の大衆向け絵本がかなり含まれている。

「書物のデザイン～Ⅱ.絵本の楽しみ～」出品目録

一奈良絵本一

1. つれづれ草 6冊
卜部兼好 江戸初期写
2. しぐれ 5冊
江戸初期写
3. ふしみときは 2冊
同
4. くさ物語 2冊
同
5. 大黒舞 2冊
同
6. 鶴のさうし 1冊
7. かぶき草紙(大正11年稀書複製会複製) 28枚
同
8. こおとこのさうし 1冊
同(昭和5年稀書複製会複製)

一中国・朝鮮の絵本一

9. 歴代君臣図像 2巻2冊
周進隆編 朝鮮・嘉靖5年刊
10. 楽学軌範 9巻3冊
成視等撰 朝鮮李朝刊
11. 小学日記故事大全 10巻2冊
虞韶編 朝鮮・嘉靖45年刊
12. 古今列女伝 8巻3冊
劉向撰 茅坤補
万曆15年刊
13. 三国志伝通俗演義 12巻6冊
羅本編 万曆19年刊
14. 全漢志伝 12巻2冊
熊鍾谷撰 万曆16年刊
15. 列国志伝 8巻8冊
余邵魚 万曆34年刊
16. 重校琵琶記 2巻1冊
高明撰 万曆25年刊
17. 呉姫百媚 2巻1冊
宛瑜子撰 万曆45年刊
18. 閩鑑図集 3冊
黄尚文等編 万曆37年刊
19. 女範編 4巻4冊
王尚文編 程起龍画
刊(万曆30年序)
20. 警世通言 40巻12冊
隴西君撰 明代刊
21. 輪廻醒世 18巻18冊
明代刊
22. 新鐫国朝名公神断詳情公案 5巻2冊
陳眉公撰 明代刊
23. 合刻名公案断法林灼見 5巻4冊
清虚子撰 刊(天啓元年序)
24. 文林聚宝万卷星羅 40巻6冊
徐会瀛撰 万曆28年刊
25. 三台万用正宗 43巻8冊
余象斗 万曆27年刊
26. 倦仙奇踪 8巻8冊
洪応明編 万曆年間刊
27. 有象列仙全伝 9巻5冊
王世貞編 万曆年間刊
28. 五経図 6巻1冊
章達等撰 刊(万曆42年序)
29. 六経図 6巻1冊
楊甲撰 万曆年間刊
30. 坐隠先生訂碁譜 5冊
万曆年間刊

31. 図絵宗彝 8巻1冊
楊爾曾撰 蔡汝佐画
万曆35年刊
32. 歴代名公画譜 4冊
顧炳編 刊(万曆31年序)
33. 西湖遊覧志 12巻6冊
田汝成撰 明代刊
34. 名山勝概記 60巻64冊
何章撰 崇禎初年刊
35. 銅人臉穴鍼灸図経 3巻10冊
王惟一撰 万曆年中拓本
36. 証類備用本草 30巻25冊
唐慎微撰 成化4年刊
37. 祥異図説 7巻2冊
余文龍重編 万曆47年刊
38. 天文図象玩古 4冊
明代鈔本

一江戸時代前期の絵入本一

39. 帝鑑図説 2巻6冊
張居正等編 慶長11年刊
 40. 歴代君臣図像 2巻2冊
周進隆編 慶長年間刊
 41. 御行幸之次第 3軸
烏丸光広 江戸初期刊
 42. うをのうた合(大正15年稀書複製会複製) 1冊
寛永年間刊
 43. とりのうた合(昭和2年稀書複製会複製) 1冊
寛永年間刊
 44. 千代の友つる(昭和2年稀書複製会複製) 1冊
菱川師宣画 天和2年刊
 45. 京雀(昭和13～15年稀書複製会複製) 7巻7冊
浅井了意 寛文5年刊
 46. 東海道名所記 6巻6冊
(昭和10～11年稀書複製会複製)
万治年間刊
 47. 吉原恋乃道引(大正14年稀書複製会複製) 3巻3冊
延宝6年刊
 48. 好色五人女(複製) 5冊
井原西鶴 貞享3年刊
 49. 世間胸算用 5巻5冊
(昭和17年稀書複製会複製)
井原西鶴 元禄5年刊
 50. 新板絵入伊勢物語 2巻1冊
寛文2年刊
 51. 源氏物語 30冊
江戸中期刊
 52. 義経記 8巻8冊
寛文13年刊
 53. 曾我物語 12巻4冊
元禄14年刊
- 一名所図会と図会物一
54. 都名所図会 6巻6冊
秋里籬島編 竹原春朝画
刊(安永9年序)
 55. 東海道名所図会 6巻6冊
同 北尾政美等画
寛政9年刊
 56. 浪華の賑ひ 3巻3冊
曉鐘成編 松川半山画
安政2、文久3年刊
 57. 淀川兩岸一覽 4巻4冊
同
文久元年刊

58. 北越雪譜 3巻3冊
鈴木牧之 山東京水画
天保7年刊
59. 日本名山図会 3巻3冊
河村元善編 谷文晁画
文化9年刊
60. 絵本保元平治 10巻5冊
秋里籬島編
享和元年刊
61. 源平盛衰記図会 6冊
秋里籬島編
江戸末期刊
- 一尾張の肉筆絵本と見聞記一
62. 張州雑志 100巻100冊
内藤東甫 江戸中期写(自筆本)
63. 尾張年中行事絵抄 1冊
高力種信 江戸末期写
64. 開帳談話 1冊
高力種信 江戸末期写
65. 熱田祭奠年中行事図会 10冊
江戸末期写
66. 環海異聞 15巻8冊
大槻玄沢 江戸末期写(文化4年序)
67. 蝦夷草紙 3巻3冊
最上常矩 江戸末期写
- 一絵入り実用書・学術書一
68. 和漢三才図会 107巻81冊
寺島良安 刊(正徳3年序)
69. 農業全書 11巻11冊
宮崎安貞 貝原義賢補
元禄10年刊
70. 大和本草 19巻10冊
貝原篤信 宝永6・正徳5年刊
71. 本草図譜 2巻2冊
岩崎常正 江戸末期写(自筆本)
72. 本草会物品目録 1冊
舊百社編 天保6年刊
73. 植学啓原 3冊
宇田川榕庵 天保8年刊
74. 毛詩品物図攷 3帖
岡元鳳 江戸末期写(宋琳紫岡筆)
75. 紅毛銅人形図 1折
江戸中期写
76. 解体新書 5巻5冊
杉田玄白等訳 安永3年刊
77. 四十二国人物図説 1冊
西川如見 江戸末期写
78. 泰西輿地図説 17巻6冊
朽木竜橋 寛政元年刊
79. 機巧図彙 3巻3冊
細川頼直 寛政8年刊
- 一江戸文芸と絵本一
80. 桃太郎(大正7年稀書複製会複製) 1冊
江戸中期刊
81. さるかに合戦(大正15年稀書複製会複製) 1冊
江戸中期刊
82. 金々先生栄花夢 2巻2冊
(大正15年、昭和2年稀書複製会複製)
恋川春町 安永4年刊
83. 夫従以来記(昭和3年稀書複製会複製) 3巻3冊
竹杖為軽 歌麿画 天明4年刊
84. 江戸生艶気樺焼 3巻3冊
山東京伝 北尾政演画
天明5年刊
85. 老実製法滑稽妙劑 1冊
親讐髯膏葉
式亭三馬 豊広画
文化2年刊
86. 八百屋松梅竹取談 3編3冊
於七伝
山東京伝 国貞画
文化6年刊
87. 会談三組盃 前編 1冊
山東京伝 勝川春扇画
文化11年刊
88. 修紫田舎源氏 38編19冊
柳亭種彦 国貞画
文政11~天保13年刊
89. 正本製刊(文化12~天保2年) 11編11冊
柳亭種彦 国貞画
文化12~天保2年刊
90. 身振伊路波計位 2編2冊
東西庵南北 花蘭斎重政
文政12年刊
91. 写生百面叢 2冊
花笠外史 国芳画
天保11年刊
92. 白縫譚 70編140冊
柳下亭種員等 豊国画
嘉永2~明治16年刊
93. 北斎漫画 3編3冊
葛飾北斎 刊
94. 富嶽百景 初・二編 2冊
画狂老人 天保5・6年刊
95. 絵本続江戸土産(大正11年稀書複製会複製) 3冊
鈴木春信画
明和年間刊
96. 絵本四季の花会(大正5年稀書複製会複製) 編2冊
喜多川歌麿画・寛政13年刊
97. 絵本水滸伝 1冊
葛飾北斎 文政12年刊
98. 英雄画譜 2巻2冊
曲亭馬琴 蹄齋北馬画
天保9年刊
99. 画本古鳥図賀比 3巻1冊
耳鳥齋画 文化2年刊
100. 目付画草紙 1冊
仙果作・画 刊
101. 戯子名所図会 3巻2冊
曲亭馬琴 豊国画
寛政12年刊
102. 声色早合点 3編3冊
五柳亭徳升 国貞画
天保2~4年刊
103. 絵本いろは仮名四谷怪談 5巻5冊
鶴屋南北 春梅齋北英画
天保5年刊
104. 国貞双紙 三都俳優水滸伝 4編7冊
鶴屋南北 国貞画 刊
105. あるとあらゆるどうぐ落 一口俄 1冊
刊
106. なぞなぞ玉手箱 二編 1冊
刊
107. 新板地口絵手本 1冊
国麿画
108. 逢夢石 4編4冊
山東京伝 豊国画
刊
109. 有情雑話 初編 1冊
瓢々亭泉成 芳虎画
嘉永6年刊
110. 滑稽絵本百種 1冊
刊
111. 江戸仕掛本考 2巻2冊
林美一
昭和42年刊

蓬左アルバム

織茂三郎先生をしのんで

この蓬左アルバムで思い出を語っていただいております織茂三郎先生が、五月十三日、入院中の東京都内の病院で、81才でお亡くなりになりました。

織茂三郎先生は、昭和13年、当時黎明会（現在の徳川黎明会）に所属していた蓬左文庫の職員となられ、昭和25年蓬左文庫の名古屋市移管にもなっておられ、名古屋市職員として昭和51年まで在職され、ひきつづき昭和59年までは、嘱託職の調査研究員として当文庫に勤務されました。黎明会時代の御仕事については、これまでの蓬左アルバムのとおりです。

名古屋市移管後は、市の文化行政が現在以上に貧困な時代に、蓬左文庫資料の保存と広範な活用に孤軍奮闘努力されるとともに、文庫資料の調査研究でも多くの業績を残しておられます。とくに、尾張地方の郷土資料に対する学問的な見識の広さはつとによく知られ、高力種信（猿猴庵）の先駆的な研究は、高く評価されています。

昭和34年から43年までの名古屋叢書正、続編刊行では、事務局の中心となって全45冊を刊行、続いて「名古屋市蓬左文庫国書分類目録」をはじめとして、当文庫蔵書の印刷目録を次々と世に出されました。また、同54年からはじまった名古屋叢書三編の刊行では、職員をバックアップされ、退職後は編集委員を勤めていただいております。

このように簡単に記しただけでも、先生が文庫において果たされた役割には、計り知れないものがあります。蓬左アルバムでは、今後も、生前に書かれた文章の再録によって、いますこしその御仕事をふり返ってみることを予定しております。

また、蓬左アルバムの織茂先生のお話へ何度か登場されました徳川林政史研究所名誉所長所三男先生が、六月三十日、入院中の東京都内の病院で88才でお亡くなりになりました。

ここに両先生の御逝去をいたみ哀悼の意を表するとともに、謹んで御冥福をお祈り申し上げます。



東図書館2階の旧蓬左文庫にて（昭和58年ごろ）



東図書館建設前の蓬左文庫閲覧室内・当時の蓬左文庫と織茂先生（昭和30年代）

出版物一覽

- 名古屋市蓬左文庫漢籍分類目録(S. 50年刊) 3,500円
 名古屋市蓬左文庫国書分類目録(S. 51年刊) 4,000円
 名古屋市蓬左文庫古文書古絵図目録(同) 2,500円
 尾崎久弥コレクション目録第一～三集 各 1,500円
 名古屋叢書(正編)索引・総目録(S. 53年刊) 2,000円
 名古屋叢書続編 索引(S. 47年刊) 700円
 名古屋叢書続編総目録(S. 44年刊) 400円
 善本解題図録第一～三集(S. 55年再版) 各 300円
 日本の古典<蓬左文庫図録>(S. 52年刊) 200円
 蓬左文庫・源氏物語図録(S. 53年刊) 300円
蓬左文庫所蔵古地図複製 No.1～No.15(S. 55～61年刊) 各 1,800円
- 1.尾府名古屋図 2.尾州名古屋御城下之図 3.名古屋図
 4.尾張八郡図 5～15 尾張志付図
 5.尾張国 6.愛知郡東 7.愛知郡西 8.春日井郡 9.智多郡 10.熱田 11.丹羽郡 12.海東郡 13.海西郡 14.中島郡 15.葉栗郡
- 御本印型書鎮(S. 58年製) 1,000円
 堀田文庫蔵書目録(S. 58年刊) 500円
 蓬左文庫絵葉書<8枚組>(同) 300円
 蓬左文庫図録(同) 1,500円
 蟹江慶次郎旧蔵書目録(S. 62年刊) 500円

名古屋叢書三編 全19巻20冊(S55～63年刊)各3,000円

1. 尾張徳川家系譜
2. 尾藩世記 上
3. 同 下
4. 士林派澗続編
5. 尾張年中行事絵抄 上
6. 同 中
7. 同 下
8. 張州年中行事鈔・尾張俗諺・尾張童遊集
9. 松涛棒筆(抄) 上
10. 同 下
11. 楽寿筆叢・十如是独言
12. 葎の滴 諸家雑談・家事雑識
13. 天保会記鈔本
14. 金明録
15. 尾張方言・水かはり・浪越方言集・宮訛言葉の掃溜 雅語訳解・俗語弁
16. 横井也有全集上(発句・和歌編)
17. 同 中(俳文・俳論俳話編)
18. (1) 同 下(1)(連句・漢詩文編)
18. (2) 同 下(2)(狂歌・談義・伝記資料・追加・参考編)
19. 物品識名・物品識名拾遺・本草会物品目録・泰西本草名疏

★以上の出版物は、本文庫事務室において頒布しています。郵送希望の方は郵送料が必要ですので、お問い合わせ下さい。(ただし、古地図複製は郵送不可)

▷▷▷ 利用ご案内 ◁◁◁

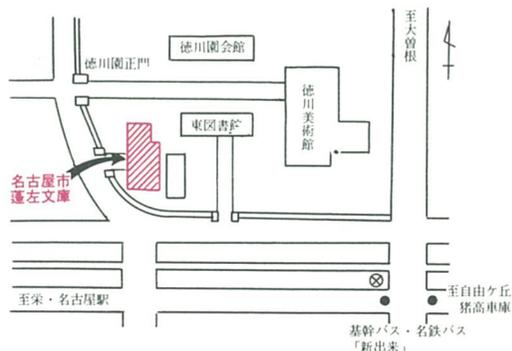
- ▷開館時間 午前9時30分～午後5時
- ▷休館日 毎月曜日・第3金曜日(館内整理日)
 祝日 (日曜に重なる場合は日曜開館、月・火休館)
月曜 " " 月・火休館
 年末年始(12月28日～1月4日)
- ▷閲覧 館内に限り、館外貸し出しはいたしません
 (閲覧料) 普通図書 無料
 重要図書 有料(1部350円)
- ▷展示 随時蔵書の一部を展示
 (特別展を除き入場無料)
- ▷複写サービス 普通図書のうち、保存上影響のないものについて複写サービスを行います。その他、マイクロフィルムの利用、写真撮影の申請を受け付けますので、ご来庫の上、ご相談下さい。

名古屋市蓬左文庫

〒461 名古屋市東区徳川町1001番地

☎(052)935-2173

(名古屋駅から) 市バス(基2)「自由ヶ丘」「猪高車庫」行
 名鉄バス「本地ヶ原方面」行
 (栄から) 市バス(基2)「引山」「自由ヶ丘」
 「猪高車庫」行
 「新出来」下車、徒歩4分



「蓬左」第38号 ☆平成元年7月15日発行 ☆編集・発行：名古屋市蓬左文庫(東区徳川町1001番地)

☆無料 ☆不定期刊行 ☆印刷：大同印刷株式会社(東区泉2-3-18)